

平成19年度

大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻入学者選抜試験

【2年短縮型】

法律科目試験問題：刑事法（配点：100点）

注意事項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 2 問題冊子は、全部で2ページである。
解答用紙は、全部で8ページである。
問題冊子、解答用紙に脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の上部所定欄に、1ページには氏名、受験番号、試験の科目名を、2ページ以降は各ページに氏名を忘れずに記入すること。
- 4 解答は、第1問は1ページから、第2問は5ページから記入すること。
- 5 解答以外のことを書いたときは無効とすることがある。
- 6 机上に各自の「受験票」と「大学入試センター法科大学院適性試験受験票」を出しておくこと。
- 7 解答用紙は、8ページを超えて使用することはできない。

第1問 (刑法)

スリ常習犯のXは、街中で、遠方に、かつて一緒に窃盗をしたことがあるYが紳士風の服装で歩いているのを見て、久しぶりに話をしようと思い後を追っていった。Yは、大きな時計店に入り、高級腕時計(時価100万円)を出してもらい、店員Aが油断している隙に予め用意してきた偽物と巧みにすり替え、高級腕時計の方を手にしてポケットに入れようとしたところで、Aがそれに気づき、思い切りYの腕をつかんだので時計は手から離れて床に落ちた。YはAに殴りかかり、逃げようとしたが、もみ合いになり、Aに取り押さえられそうになった。その時、店の前に達したXは、その状態を見て即座に事態を理解し、Yを助けるために店内に入ってAに殴りかかり、Yと一緒に店外へと逃げ出した。しかし、客の携帯電話による通報で駆けつけた警察官Bに追われ、Yは逃げたが、XはBに逮捕された。Aはこのもみ合いで負傷したが、その傷がX・Yいずれの行為によるものか不明であった。

Bに左腕をつかまれ派出所に連行されそうになったXは、路上で、Bが油断している隙に右腕で巧みに腰のけん銃を奪い、Bの心臓部に向けて発砲しようとした。それを見た通行人のZは、直ちにタックルしてXを転倒させた。Xはその衝撃で負傷し、再びBに逮捕された。当時、Bのけん銃に弾丸は装填されていなかった。

X・Y・Zの行為は、刑法上どのように評価されるか。

(配点：60点)

(刑事法)

第2問 (刑事訴訟法)

逮捕に伴って無令状の搜索が認められる範囲について、実務ないし判例の考え方を説明した上で、その考え方を批判しなさい。

(配点：40点)